母親クラブ

みらい子育てネットだより

VOL.30
平成29年4月
発行／全国地域活動連絡協議会

CONTENTS

全国大会レポート …… 1
熊本地震支援金報告、平成29年度の主な事業計画 … 3
単位クラブの活動等に関するアンケート …… 4
みんなのひろば …… 5
事務局NEWS …… 10
新役員・監事・委員の紹介、事務局長のあいさつ … 11

ご　あ　い　さ　つ

― 会長 ―

全国地域活動連絡協議会　会長
小野マリ子

私が母親クラブに関わって35年が過ぎようとしています。

当時はＰＴＡ、子ども会等の活動にどっぷりつかっていました。

会員の減少と高齢化に伴い私に声がかかり、会員の募集に協力してほしいとの事が始まりです。

いつの間に両足がつかりすぎ、抜けることができない状態になっております。でも後悔はしていません。微力ではありますが、子どもたちの健全育成、安全安心、若いお母さんと一緒に子育て支援等楽しい時間を共有できた事に喜びを感じています。その当時の子ども達がいまでは母となり父となり子育てをしており、そして、嬉しいことに母親クラブの会員として活動に参加しています。

「光陰矢の如し」まさにその一言です。

子ども達を取り巻く環境、母親クラブを取り巻く環境が大変厳しくなっています。その中で、私たち母親クラブの活動が重要視されているのではないのでしょうか。

全国的にもクラブ数会員数の減少が続いており、色々な課題もあるとは思いますが、私たちにできる事、私たちにしかできない事を考えながら活動につなげていきたいものです。

世代や地域を越えて人との絆を大切に、未来ある子ども達に夢と希望を与え、魅力ある活動を目指し、「まちの子はわが子」を合言葉に共に歩んでいきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

― 厚生労働省 ―

厚生労働省 雇用均等・児童家庭局 総務課
少子化総合対策室 児童健全育成専門官
田口雅之

全国地域活動連絡協議会の皆様には、日頃から、地域の子育て支援活動や子どもの安心・安全を守る活動、事故防止活動など、児童の健全育成のための様々な活動にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

少子高齢化社会と言われ、昨年は出生数が初めて百万人を切るという状況の中、子どもや子育て家庭の抱える状況は複雑・多様化しています。特に、核家族化の進展とともにプライバシー保護の影響もあり近隣住民との関係が希薄化するなかで、子育ての不安や悩みを周囲に相談できず、子育ての孤立感や負担感などを大きく感じる方々がとても増えています。また、地域から孤立している家庭、中でも乳幼児のいる家庭などでは深刻な児童虐待の問題も起きています。子育て中はもとより妊娠中から親が孤立しないような環境を整備する必要があります。

こうした状況を踏まえ、昨年、児童福祉法が改正され児童虐待の防止のための取組が進められるとともに、地域における子育て支援の施策を充実し推進することとしております。

これらの対策は行政や関係機関だけでは十分に機能しません。関係団体や母親クラブなどの地域のボランティア等が連携し合ってこそ効果が上がるというものです。

皆様には、これまでも、児童館等を拠点に親子や世代間の交流・文化活動や児童事故防止のための活動など「5つの活動」を地域組織（母親クラブ）として、皆様の組織ならではの地域活動を展開してこられました。

今後とも引き続きこれらの活動を実施しつつ、孤立しがちな母親等への声かけ、アドバイスなど、孤立感や負担感を和らげる取組みに積極的に取り組むなど、地域の実情に合わせた子育て支援を、地域組織ならではの視点で展開していただくことを期待しています。

未来を担う子どもたちが安心して健やかに育つとともに親たちが安心して産み育てられる地域社会に向けて、地域における皆様方の一層のご尽力を賜れれば幸いです。

全国大会レポート

プログラム

1日目／行政説明、表彰式、講演（矢野智子氏）、講演（日向大祐氏）、意見交換会
2日目／活動事例報告、講演（藤井和子氏）

開催期日：平成29年2月21日（火）～22日（水）　開催場所：ホテルメルパルク東京

― 参加人数 ―
1日目／120名
2日目／120名

東京都で開催された全国大会は、東京タワーが後方にそびえ、徳川幕府歴代将軍の墓がある増上寺の近くのホテルで行われました。

開会式の主催者挨拶では、厚生労働省雇用均等・児童家庭局総務課田口雅之児童健全育成専門官より、母親クラブは地域の子育て支援の実践者として大きな功績を挙げているので、人と人をつなぐ役割を持つ母親クラブの活動に感謝と今後の発展を期待しているとのお言葉をいただきました。つぎに全国地域活動連絡協議会の小林睦子会長は、子育て支援を必要としている人がいる限り、母親クラブは必要とされているので、優しさと活動に誇りを持って活動していって欲しいとの激励をされました。つづいて児童健全育成推進財団鈴木一光理事長は、平成24年に国の補助金（国庫補助）から一般財源化されたことにより、全国的に母親クラブが減少傾向にあるが、その活動は「生き生きと笑っていられる」母親クラブとして地域に不可欠なものであるので、母親クラブと児童館が車の両輪になり活動していって欲しいとの今後の課題を提示されました。

行政説明は、児童健全育成専門官田口雅之氏より少子化の現状と社会的要因、少子化対策の全体像、新三本の矢、地域活動クラブ等についての説明がありました。少子化の厳しい現状は、地域の子育て力低下に一因があるように感じられました。その中で母親クラブは、孤立しがちな母親等の社会参加を促し、育児不安の解消や虐待防止に大きな効果を上げている実績が評価されており、地道に身近な子育て支援を実践していく大切さを感じました。

次に第三〇回全国地域活動連絡協議会表彰式が行われ、個人表彰五五名・団体表彰九団体が表彰されました。

NPO法人子どもとメディアインストラクター、子どもとメディア関東事務局長、子どものネットリスク教育研究会主幹研究員矢野智子氏による講演「スマホ子育ての落とし穴―ネット時代の子育ち・子育て支援―」は、0歳児からスマホやタブレットを見せ、1歳6ヶ月頃からスマホ・タブレット依存症の傾向が始まっているという現状を、アンケートを基にしてわかりやすく図表で説明され、今の子どもたちがメディア漬けになり、その影響で視力や体力の低下が顕著になっている等の問題が明らかにされました。これからの子どもはどんな成長をしていくのだろうと恐れを感じました。メディア漬けの子育てか

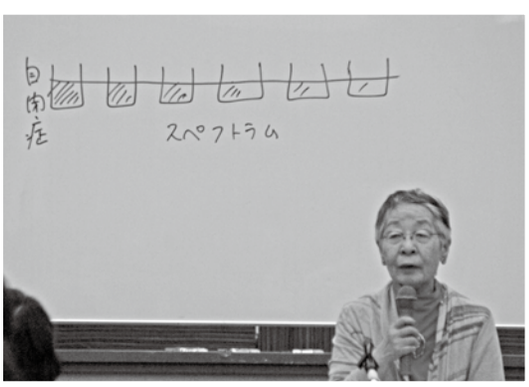
ら子どもたちを守るためにその問題を発信し、メディアに頼らない遊び方を教え知らせていくことが必要とされている。ぜひ母親クラブの皆さんが地域に戻って実践してくださいとの課題を示されました。絵本「ママのスマホになりたい」が最後に読まれ、子育てに本当に大切なことは何かを感じさせられるとともに、ネット時代の子育ち・子育て支援についての難しさを実感しました。

「マジックでこどもとコミュニケーション」講師マジックエアリストの日向大祐氏の講演は身近なハンカチ・折り紙・輪ゴムで、心をつかむ簡単マジックのコツを実際に参加者も一緒にマジックをしながら教えてくださいました。マジックを見ると知的好奇心が刺激され感情が豊かになる。そしてマジックをやると人前で話す能力が高まり、自己肯定感が得られるとのこと。テクニックよりも見せ方話し方に留意し、自分が楽しみながら演じれば誰でもできるとの言葉に、やってみようという気持ちが湧いてきました。

意見交換会は、講師の日向大祐氏のマジック、みらい子育てネットさがみはら連絡協議会のオカリナ演奏に参加者全員の合唱と大いに盛り上がり、全国の会員の方々と親しく情報交換を行い有意義な時間を過ごすことができました。

2日目は、茨城県地域活動連絡協議会の活動事例が発表されました。どこのクラブでも苦労している、人集めや予算確保等をフライヤーの利用や、共同募金会への協力で予算を確保し、親子防災教育事業を開催し成果をあげた報告があり、今後の活動の参考になりました。

全国大会最後の講演は「むずかしい子にやさしい子育て」と題し、まめの木クリニック・発達臨床研究所、ソーシャル・ケースワーカー藤井和子氏を講師として発達障害についての基礎知識やペアレントトレーニングの手法等を学びました。「好きな時に、好きなことを好きなように、やりたいだけやる」という特性をもつ発達障害児の理解と対応について事例を交えながら具体的な話をうかがいました。



私たちができることは、発達障害に対する正しい知識を持つこと。自分の行動をなかなか上手にコントロールできない子どもたちへの上手な指示方法『ＣＣＱ』「近づいて（Ｃｌｏｓｅクロース）・おだやかに（Ｃａｌｍカーム）・声のトーンを抑えて静かに（Ｑｕｉｅｔクワイエット）」を用いて接すること。親に寄り添って些細な成長も一緒に喜ぶ姿勢であることを認識しました。

閉会式は、大会旗が今年度主管した関東・甲信越ブロックから次年度大会主管の九州ブロックへ渡されました。そして全国地域活動連絡協議会副会長佐々木とし子氏から閉会あいさつがありました。

最後に今年度をもって、退職される松本事務局長に、全国地域活動連絡協議会会員一同より感謝の花束が贈呈され全国大会が終わりました。

今回の全国大会は、関東・甲信越ブロック内地協（茨城県・栃木県・群馬県・東京都・相模原市・新潟県）が力を合わせ、スタッフとして運営にあたりました。

（栃木県地域活動連絡協議会　松岡 千恵子）

※本誌では以下の略称を用いることがあります。
全 地 協……全国地域活動連絡協議会　　地　　協……各都県・市地域活動連絡協議会　　育成財団…（一財）児童健全育成推進財団
みらい子育てネットとは、全国地域活動連絡協議会の愛称です。

平成28年熊本地震災害・地域組織（母親クラブ）活動支援金について（お礼とご報告）

熊本県および大分県を震源とする地震により被災された方々、そして母親クラブ関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

全国地域活動連絡協議会では皆様のご厚志を全地協事務局を窓口に「母親クラブ活動のための支援金」としてお預かりいたしました。皆様より心温まるご支援を頂戴いたしましたこと、厚く御礼申し上げるとともにご報告申し上げます。

ご協力期間：平成28年4月22日～平成29年3月31日
支援金総額：881,063円
支援金送金：熊本県地協へ781,063円／大分県地協へ100,000円

ご支援いただいた皆様　（五十音順）

愛知県地域活動連絡協議会	広島市地域活動連絡協議会
青森県地域活動連絡協議会	福島県地域活動連絡協議会
吾妻児童クラブ（福島県）	松山みらいクラブ連絡協議会
あまぬま母親クラブ（東京都）	宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会
石川県地域活動連絡協議会	みらい子育てネット・新潟
泉第一母親クラブ（福島県）	みらい子育てネットさがみはら連絡協議会
茨城県地域活動連絡協議会	みらい子育てネット山形
磐城母親クラブ（福島県）	本宮市荒井母親クラブ（福島県）
大久保ちぐさ母親クラブ（山形県）	本宮市1区母親クラブ（福島県）
岡山県地域活動連絡協議会	本宮市高木母親クラブ（福島県）
北九州市地域活動連絡協議会	山口県地域活動連絡協議会
グループたけのこ（東京都）	亘理町母親クラブ連絡協議会（宮城県）
ぐんま地域活動連絡協議会	わんぱくクラブ・岩江児童クラブ・御木沢児童クラブ（福島県）
静岡県地域活動連絡協議会	
静岡市地域活動連絡協議会	
児童健全育成推進財団有志	
全国地域活動連絡協議会事務局	
仙台市地域子育て支援クラブ連絡協議会	
高郷児童クラブ保護者会（福島県）	
チサトイクセイカイ	
栃木県地域活動連絡協議会	
母親クラブけやき会（東京都）	
母親クラブぶどうの会（東京都）	
兵庫県地域活動連絡協議会	

▲熊本県の子どもたちからメッセージをもらいました

平成29年度の主な事業計画

去る2月21日(火)の通常総会において、平成29年度の事業計画および収支予算が決定されました。

主な事業計画について、スケジュール（予定）と合わせて報告します。

なお、左表以外の主要事項は次のとおりです。

●平成29年度全地協会員の年会費は、【二万円+単位クラブ数×千円】

●平成29年度全地協会準会員の年会費は、【千円】

●全地協統一推進事業「公園の安全点検」と「児童虐待予防事業（心のつぶやき）」は事業を中断する。

平成29年	4月	❶ 機関誌(30号)発刊	❶ 単位クラブへ2部を直送(5月～)
	5月	❷ 優良児童図書の送付	❷ 児童健全育成推進財団の助成を受け単位クラブへ直送 有効に活用する
	6月	❸ 第1回通常理事会・臨時総会	❸ 主に28年度の事業計画・収支決算の承認 監事監査を実施(総会は文書による持ち回り会議)
	7月		❹ 第2回通常理事会前までに各ブロックにおいて 平成30年度事業、全地協への要望等の意見会議を実施
	8月	❹ ブロック会長会議	
	9月	❺ 通信委員会	❺ 機関誌(31号)の編集方針等を審議
	10月		
	11月	❻ 第2回通常理事会	❻ 主に、平成30年度の事業計画について討議、および全地協表彰の対象個人・団体の決定
	12月		
平成30年	1月		❼ 3月6日(火)・7日(水)　宮崎観光ホテル 総会…・29年度事業計画・収支予算の承認
	2月		❽ 3月7日(水)・8日(木)　宮崎観光ホテル 主管…九州ブロック 第31回全地協表彰式を含む
	3月	❼ 第3回通常理事会・全国会長会議・総会 ❽ 第44回全国大会	

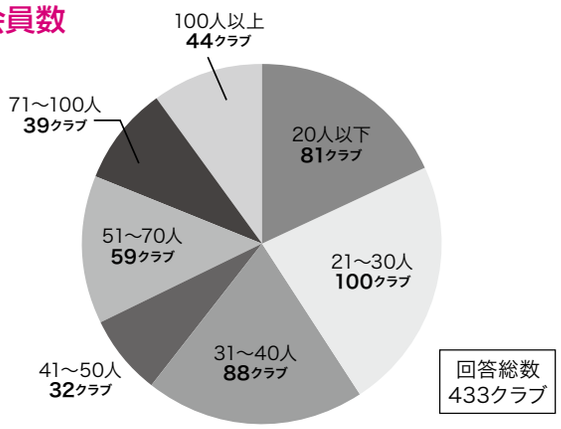
「単位クラブの活動等に関するアンケート」

ご協力ありがとうございました!!

昨年7月に実施した「単位クラブの活動等に関するアンケート」では、お忙しい中ご協力をいただきありがとうございました。アンケートを通して、児童館まつりや地域のおまつりへの参画などの「地域との連携」、親子工作、親子クッキング、親子ハイキングの実施などの「親子のふれあいの場をつくる活動」、交通安全キャンペーンへの協力、通学路の見守りなどの「事故防止活動」などが活発におこなわれている一方、会員の減少や固定化、参加する親子の減少、活動のマンネリ化に悩む姿も垣間見えました。

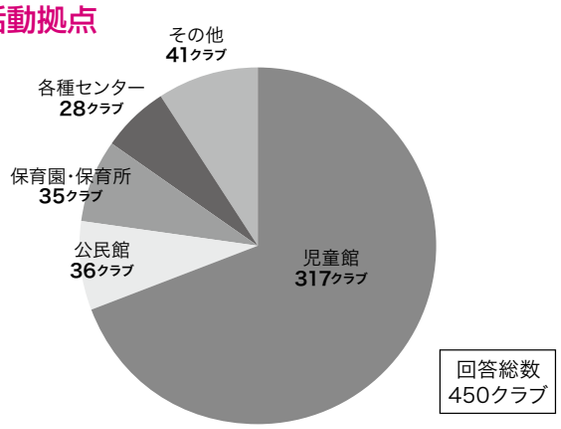
ここでデータの一部をご紹介いたします。

■会員数



40名以下のクラブが50%以上を占めています。さらに単位クラブが実施する行事への会員の参加率が50%以下のクラブが半数以上あります。

■活動拠点



児童館を活動拠点とするクラブが約70%を占めてます。活動に支援を受けたり、行事に参画したり、児童館との「良い関係」が大切です。

■活動内容

季節行事や世代間交流、研修会、公園の安全点検、児童館や地域団体との協働事業などに取り組んでいるクラブが多く見受けられました。

Pickup!

自由記述の中にも皆さんに紹介したい活動内容がありました

【具体的な活動】

親子や世代間の交流・文化活動

- ○あそびのチャンピオン大会
- ○絵本の修理
- ○寝ぞうアート撮影会など

児童養育に関する研修活動

- ○地元スポーツチームとの交流
- ○地産地消お食事会
- ○本を持ちより紹介する会

児童事故防止のための活動

- ○おもちゃの点検
- ○救急救命講座
- ○クリーンハイキング
- ○災害時炊飯講座
- ○スマホ・携帯電話等の安全な使い方

児童福祉の向上に寄与する活動

- ○協働のまちづくりポスターセッションに出展
- ○男性と子どもの料理教室
- ○各種地域ネットワーク会議に参加

困っていること

- ●活動拠点がほしい（児童館がなくなってしまった、夏休みは小学生のみの入室になってしまう）。
- ●他のクラブの方と情報交換をしたい。
- ●資金繰りが大変なので、工作の仕方や方法を一緒に考えてくれると助かります。
- ●会員・役員の高齢化。
- ●児童クラブの機能だけの児童館になりつつある。母親クラブとの連携がなくなってきている。
- ●地域的に遠方の人が児童館を利用し、難しい環境にある。
- ●年齢層が幅広いため、会を継続するには若い方の入会が望ましいが現状ではむずかしい。
- ●年ごとに子どもの気質も変わり、親の心がわかりにくい。どうすれば良いのか困ることあり。

がんばっています！

- ●お母さんたちの居場所づくり、子育ての中で少しでもホッとできる場で時間を過ごしてもらいたい。
- ●地域の小学校、青少年健全育成協議会、PTAとうまく連絡をとりあって協力体制ができています。
- ●年間でたくさんの方にお手伝いいただいて助かっています。
- ●地区社協のメンバーとして、地域活動の一員としてこれからも活動していきたいです。

今日もどこかで、元気いっぱいの活動を続けている母親クラブ。研修会やイベントなど、全国から届いた活動レポートをご紹介します。

子どもたちのための楽しいイベント作り

青森県地域活動連絡協議会
大鰐町あすなろ母親クラブ

あすなろ母親クラブでは、児童館のイベントのお手伝いをしています。

とりわけ、大きなイベントは、7月の児童館まつり・12月のクリスマス会と親子研修旅行です。

児童館まつり・クリスマスお楽しみ会には、約300人の親子連れ等が参加し、町の夏・冬のイベントとして定着してきました。

この行事には、町の子どもに関わる団体もブースを出してイベントを盛り上げています。

母親クラブは、子どもたち価格で購入できる食べ物のメニューを考えて販売しています。子どもたちは、遊びながら、家族で食事ができるこのイベントを毎年とても楽しみにしているそうです。

参加した保護者は、「毎年このイベントを楽しみにしています。子ども価格で買える出店メニューは、とっても美味しく、お手伝いをするとカレーライスのまかない食をいただけます。子どもたちが町の中でいろんな人と関わって遊んでくれるので、子育てする上で非常に助かっています」と話していました。

もう一つのイベントは親子研修旅行です。子どもたちが飽きずにバスに乗っていられる時間（約1時間くらい）内で楽しんでいける場所を選定しています。夏休み始めの日曜日に設定しているので、「夏の思い出を絵日記にかけるので助かっています」と話してくださる若いママもいました。

昨年は、乳幼児から大人まで一緒に遊べる木づくりおもちゃ広場に行きました。絵本コーナーでは、読み聞かせ員に本を読み聞かせしてもらったり、布で作った野菜で遊んだり、ボールハウスでたくさんのボールの中に父子で埋まっている家族もいました。おばあちゃん世代の方々は、様々な物づくりの体験をするなど、家族で思う存分楽しんだようです。

三世代で参加してくれたおばあちゃんは「子どもたちの両親が仕事で忙しくて、夏休みは、どこにも連れていけなくて子どもには申し訳ない思いがあります。でもこの研修旅行で、他の親子や家族と一緒に行けるので、子どもたちの笑顔が違います。この研修旅行をいつまでも続けて欲しい」と話してくれました。

これからも、町に子どもたちがいる限り、楽しいイベント作りに母親クラブ会員として協力したいと思っています。

災害時に役立つ調理を体験

特定非営利活動法人
みらい子育てネット山形

みらい子育てネット山形では、近年の災害の多さに注目し、災害時でも出来る食事作りをメインに、食育にもつながる活動「アイラップ調理」を各クラブに広めていこうとしています。

災害時は、電気もガスも水もない事が考えられます。その中で家族を守っていかなければいけません。特に食に関しての不安は大きいと思います。そんな中、特別な防災グッズがなくても最低限の飲料水で家にあるものを調理する事ができれば、大変心強いと思います。

アイラップ（耐熱性のビニール袋）に材料と水（調味料）を入れて、大鍋に入れたお湯で袋ごと煮るだけで出来上がりです。小さい子やお年寄りには、お粥も同じ要領で出来ます。また、ご飯もおかずも同時に出来ます。大きな鍋の水は何度も使うことができるし、アイラップを器の中で広げれば、食べた後に洗い物もする必要がありません。本当に「目から鱗」の調理法です。

災害はいつおこるかわかりません。もし万が一災害が起こった時には、家族やご近所の方々を守れるように、母親クラブのメンバーも一役を担えるようになれればと思います。地域の防災組織と協同しての研修会の開催を続けていけたらと思っています。

山形県では、赤十字奉仕団の方が講師を引き受けてくださっています。講師の方々に感謝しながら学びの場を作っていこうと思います。

親子防災教育事業「生存確率」

茨城県地域活動連絡協議会

茨城県地域活動連絡協議会では、平成28年度研修会として親子防災教育事業「生存確率」を実施いたしました。私たちはこれまで食育や虐待防止・公園の安全点検等の研修に力を入れてきましたが、最近ではメディアの問題や防災の問題も大きな課題となっており、特に小さな子どもを抱えての防災の概念は、一般的な防災教育では網羅しきれないと考えました。

そこで、一般社団法人日本防災教育振興中央会及び特定非営利活動法人イバラキ県防災教育振興協会の協力の下、乳幼児を伴って参加できる親子防災教育事業を実施しました。

◆サバイバル体験…いざというとき、あなたならどうする？（STEP1：災害の瞬間、STEP2：避難する瞬間）

◆災害ワークショップ&避難所体験…活かすノウハウ、役立つ知識（防災グッズ展示及び制作、非常食展示、避難所体験、防災クイズなど）

◆講演会…「まさか自分が…」（講師：日本防災教育振興中央会代表理事　仲西　宏之　先生）

サバイバル体験では、実際に震災に遭遇した時まずどう行動したら生存確率を上げることができるのか、親子で実践的に学びました。ワークショップでは被災時に役立つ情報が得られ、避難所体験では常総市のご厚意で先の水害の時に実際の避難所で使用されていたものをお借りして本格的な体験をすることができました。また、仲西先生の講演会では阪神大震災や東日本大震災・熊本地震の経験に基づいた生の情報を聞くことができ、新しい防災の在り方も学びました。

参加者からは防災意識がぐっと上がった・もっと知りたい・地域に広めたいなど、大変好評を頂きました。この事業は中央振興会と協力し、今年度以降も継続の予定です。地域の防災教育の一端を母親クラブが担っていけたらと考えています。

子育て支援者ネットワークづくり

みらい子育てネット　さがみはら連絡協議会

子ども達の健やかな育ちを願い、4団体・個人会員13名が、地域、全国地域活動連絡協議会、相模原市、関係団体（青少年・社会教育・社会福祉協議会・男女共同参画等）と連携し活動しています。その取りまとめや連絡調整をみらい子育てネットさがみはら連絡協議会が担っています。

歴史は、昭和40年の結成から53年目（平成29年度）となります。当初は市民生部社会課所管の民生委員の声かけにより、お母さんの勉強会として、「母親クラブ」が誕生、福祉の団体として活動が始まりました。その後、市が積極的に働きかけ、PTA、子ども会、婦人会など様々な母体から結成されました。平成21年には「みらい子育てネットさがみはら連絡協議会」と名称変更をしました。

会員相互の楽しい交流を大切にし、子どもの健全な成長のための環境づくりの工夫を重ねてきています。所管は教育委員会、市長部局の青少年課、等を経て、現在はこども家庭課となっています。

現在、相模原市地域子育て支援事業を相模原市から受託し、講座開催や子育て支援者ネットワーク充実のお手伝いもしています。支援者向け講座としてフォーラムを開催し、ネットワーク所属の団体や個人の発表や、交流会も実施しています。また、地域子育て支援講座として、各地で「子育ておしゃべり会」「あそびのひろば」「お絵かき教室」「ムーブメント教室」「子育て支援講座」「子育てを楽しんじゃう講座」「マタニティ&子育てママ&子育て支援者の会」などを開催したり、子育て支援者の活動や連絡先を掲載したリーフレットを作成しています。

今後も子ども達のために歩みます。

石川県地域活動連絡協議会 美川児童館カンガルークラブ

平成4年に設立し、会員数は60名を超えるまでになりました。小学生の母親が中心となって、活動拠点である美川児童館の職員と共に季節ごとにイベントを実施しています。

働いている若い母親が多い中で、運営を担う人手やイベントの参加者集めに苦労をしていますが、学年を越えた母親の交流の場として地域に根付いた活動をしていきたいです。

福井県みらい子育てネット 母親クラブ連絡協議会

私たちの特徴的な活動の一つに、福井県児童科学館でミュージアムショップの運営をまかせてもらっていることがあります。そこでは、グッズの販売と毎年母親クラブ会員の手作り品などを販売しています。利益は、全国大会参加者研修費等に充てています。また、同児童館で毎年三月に行われる児童館フェスタ等に参加協力しています。

静岡県地域活動連絡協議会

静岡県の主催イベント「静岡県ふじさんっこ応援フェスタ」は、企業・保育関係・行政・関係団体など140団体ほどが参加し、来場者は13,000人ほどあります。私たちも毎年参加し、小さな子どもでも簡単に作れて、親子で楽しめる工作あそびのブースを担当しています。母親クラブについてのパネルも表示し、多くの方に活動を知っていただく機会になっています。

静岡市地域活動連絡協議会

みらい子育てネット静岡市では平成28年11月13日（日）に子育て講座「三世代で唄おう繋げようご当地ソング」と題し、親子で歌おうあそび唄、しごと唄、昔のあそびのワークショップを行いました。子どもたちが初めて聞く唄や、おもしろい唄もあり、みんなで仲良く歌いました。これからも昔のあそびや歌を伝承していこうと願いをこめて活動していきます。

愛知県地域活動連絡協議会

平成28年度は、初の試みで絵画研修とし、「ゴッホとゴーギャン展」を鑑賞し、愛知県美術館館長の古田氏より彼らについての講演を伺いました。生い立ちや性格、絵画表現も大きく異なる二人ですが、特に絵を通して育まれた二人の友情に感銘を受けました。子どもたちには、様々なものに触れ、興味をもち夢中になれるものを見つけてほしいと願います。

兵庫県地域活動連絡協議会

兵庫県は、毎年「兵庫県大会」を開催しています。会場は、各単位クラブがある地域（市）を巡回しています。三つの〝わ〟「話」・「和」・「輪」を理念に、広く県民の方々に「母親クラブ」を知ってもらい活動参加を呼びかけ、情報提供や他団体との交流を目的にふれあいコンサートなどで楽しんでもらっています。

和歌山県地域活動連絡協議会

私たちは毎年、指導者研修会を開催しています。平成28年度は「AED講習及び防災学習会（非常食の試食会）」という内容で、消防署員による実技研修を行いました。基本的な心肺蘇生術やAEDの使用方法を学ぶことで、一般の方が救命活動に安心感をもって積極的に取り組み、救命率の向上に寄与することが期待できます。また、災害備蓄保存用パンの試食や、雨風を防ぐレインコートの作成、新聞紙の活用法について参加者で考え実際に作るなどを体験しました。最後には研修会で学んだことや防災の工夫、知恵について互いに話し合い、今後につなげていくことを確かめ合いました。

自然のゆたかさ こころと カラダを使って体感！

みらい子育てネット
鳥取県地域活動連絡協議会

環境や自然がとても豊かな鳥取県ですが、どこの地域でも外で遊ぶ子どもの姿をめっきり見かけることのなくなってきた近年。「いったい、この子らは、外での遊び方を知っているのだろうか」と考えた時、鳥取県地協では、子どもたちが楽しめる外遊びを提供しよう！ということになりました。

遊び自体を大人が指導しなければならない現状にあったことを踏まえ、保護者が意見を出し合い「どの地域にも目の前には清く澄んだ水の小川があちらこちらにある。小川遊びをしよう」と企画しました。

まず、保護者だけで遊べる場所の下調べをするにあたり、川遊びの達人や農地水保全の方々にお世話になりながら、水質調査はもとより、小川に危険はないかなど、子どもも大人も安心して遊べるかどうかの調査を行いました。広い範囲の小川を調べ、調査した結果、汚い水の小川は少なく、安心して川遊びの出来る地域であることを確信しました。が・・・。下流には空き缶や空き瓶、生活ゴミなどが散乱していて、「とても、ここで遊ぼうって言えない」という現実にぶつかり「まずは、草刈りと、ゴミ集めをしなければ」と、子どもたちのうれしそうな笑顔を思い浮かべながら、小川遊びの事前準備をし、外遊びの場を準備しました。

後日、子どもらはタモをもち、飼育ケースを肩にかけ、あっちの小川、こっちの小川をのぞくと、小魚やカワニナがたくさんおり、小動物を発見した子どもらの声は、天にまで届きそうでした。

勢いよく小川に飛び込み組を作って小魚を追込み、小動物を捕獲したら、飼育ケースに入れていました。

みんなが捕った生き物を見てみようと『軽トラ水族館』を開催し、「いったいこの中の子どもたちの何人が、捕獲した小動物の名前を知っているのだろう」と思いながらも、小川遊びの達人に生き物の名前を聞き、活動終了後には捕獲したものを小川に戻しました。こんなにもたくさんの種類や生き物が生息していることに驚きの声を上げ、「また川遊びしたい」のつぶやきを地域や保護者の糧にしてきたいと思いました。視線を北側にやると、その先には美しい日本海や隠岐の島。方向を転換し、南側には中国地方最高峰の大山がそびえています。まだまだ自然がいっぱいの鳥取県での「外で遊ぼう」の企画は続きそうだと確信しました。

子育てをする為の環境づくり の為の企画あれこれ…

島根県地域活動連絡協議会
のざと・よしのクラブ

私たちの地域活動は主に三つにわかれています。

①母親と幼児を中心に行う「ママ会」
②地域の子どもたちの為の企画
③祖父母年代の方たちも参画する企画

「ママ会」は、結婚してこの地区に来てくれたママさんの為に、少しでも地域に早く馴染んでもらえるように地域のママさん同志の交流の場としています。ママ会には、自宅にいる子育て中のママさんや、産休で休暇中のママさん、ママ会の時に休みを合わせてくるお母さんもいます。ですから、車移動が必須の島根の中で、さまざまな保育所や幼稚園に通っていても、小学校に入学する時「初めまして」という事も無く、子どもたちや母親達もみんな顔見知りでさまざまな意見や交流もスムーズに出来る様になっています。のざとよしのクラブでは、子どもをもつ母親が安心して子育てを出来る環境を作る為に当初、先ずママ会を企画しました。

次に、仕事を持つママさんたちからの要望で振替休日の小学生の預かり企画を始めました。活動を続けていく中で、ママさんたちの声や、祖父母年代の方の声を聞き始め、あたり前の日常の中で、一つ一つが、あたり前の事になり過ぎているのに気がつきました。

そこで、ママ会だけではなく、③の祖父母年代の方たちも参画する企画も作りました。子どもたちと触れ合う企画や、祖父母の皆さんの茶話会を開いたりしています。

『お母さんお父さん産んでくれてありがとう！そして、育ててくれてありがとう！子どもが産まれて母親にしてくれてありがとう！息子と結婚してお嫁さんに来てくれてありがとう！子どもを産んでくれてありがとう！日々、家族でお仕事して御飯が食べられ、寝るところもある。そんな日常にありがとう！』

あたり前の事なんて何ひとつないから、ありがたいね。

ママさんから子どもたち、そして祖父母の年代のみんなに言い続けて10年がきました。地区内に毎月配布するお便りにみんなの色々な意見や気持ちを代弁して記載しています。

方言で言うと、おちらと（ぼちぼち）ええあんばいで（良い加減で）地域の為の地域活動を続けていきたいと思います。

お茶会で子どもたちと交流

北九州市地域活動連絡協議会
三郎丸児童館母親クラブ

母親クラブの活動の一つとして児童館で月に1回お茶会を開いています。

楽しくお菓子とお抹茶をいただきながら、子どもたちにお作法を知ってもらえたらと考えています。

最初にすることは正座のしかたです。近年の住宅事情もあり子どもたちは畳に座るということがあまり無い様子で、最初は足が痛いとか痺れたとか言います。でも慣れてくるとちゃんと正座できるようになりました。次に扇子を前におき畳に手をついて「お願いします」としっかりご挨拶もできるようになりました。

お菓子を食べ終わるとお抹茶の飲み方の指導です。お作法を覚えてお茶をいただけるようになるまではなかなか大変な事です。少し覚えた子どもに「とても上手になったね。姿勢もいいですね。」と声をかけると得意げでうれしそうな顔を見せてくれます。そして終わったらニコニコして「お抹茶が美味しかったです」「ありがとうございました」と言ってお部屋を出ていきます。

最初はおしゃべりばかりしていた子どもたちだったのに、しっかりできるようになると私達もとてもうれしい気持ちになります。

3月はお雛様を茶室に飾り、「お雛様お茶会」として保護者・地域の方にもお客様として来ていただいています。私達はこの日は着物を着てお客様をお迎えします。子どもたちもお客様にお出しするお茶のお運びなど、とても楽しそうに手伝ってくれます。

私達はこの子たちが成長し大人になった時、お茶会の事をふと思い出して何かの役に立つことがあったらいいなと思っています。私達はお茶会を通して子どもたちの育成にほんの少しですが関わることができることをとても幸せな事だと心から感じています。

今後も子どもたちと楽しく母親クラブで繋がっていきたいと思います。

おとなも子どもも楽しく食育

佐賀県地域活動連絡協議会

佐賀県地域活動連絡協議会は、平成28年度より佐賀市内にある児童館を拠点とする、東与賀町よいしょクラブとみらい子育てネットさがフレンドリーさんの2クラブとなりました。会員数も50名ほどで、小さな小さな団体となりました。それでも、各クラブより2名ずつの役員で県の研修会を考え、開催するまで楽しく役員会も行っています。

第1回研修・交流会として平成28年9月22日（木）に「親子パン教室」を開催しました。母＆子、おばあちゃん＆孫とバラエティーに富んだ組み合わせで、パン生地をこねる子どもたちの顔には、とても癒されました。子どもたちは後片付けもバッチリ！中には「家ではしないのにね～」なんてお母さんの声もありましたが、楽しい時間を過ごしました。

第2回研修・交流会は平成29年1月30日（月）に「大人のパン教室」を開催しました。前回参加ができなかった会員の方々の要望もあり、2回目を行うことになりました。初参加者が半数、パン生地に触れたときの顔は子どもたちと同じ表情で喜んでいただけたので、本当にやってよかったと思いました。

29年度も2クラブ団結して和気あいあい！と活動していきます。

事務局NEWS

平成28年度県知事表彰等

●**青森県褒賞**
石田和子（青森県地域活動連絡協議会　副会長）

●**石川県健民運動表彰**
瀬戸まゆみ（金沢市花園地域組織活動育成クラブ）

●**兵庫県自治賞**
森下裕子（兵庫県地域活動連絡協議会　会長）

●**こうのとり賞**
假屋和子（兵庫県地域活動連絡協議会　副会長）

●**青少年健全育成功労者知事表彰**
藤田里江（広島市江波母親クラブ）

●**青少年健全育成功労者知事表彰**
船本えり子（広島市草津母親クラブ）

●**社会福祉功労者知事表彰**
安光真裕美（山口県地域活動連絡協議会　副会長）

●**石川県健民運動表彰**
小松市すずらんクラブ

●**児童の福祉事業に寄与し児童の健全育成に貢献したとして感謝状**
尾張旭市みらい子育てネット瑞鳳（愛知県）

●**多年にわたりボランティア活動に尽力として知事表彰**
北九州市地域活動連絡協議会

●**叙位従六位**
平野京（青森県地域活動連絡協議会　前会長）

平成29年度 児童福祉週間標語

できること
たくさんあるよ
きみのてに

三谷　踏唯（ろい）さん
〈8歳・香川県〉

第30回全地協表彰

―個人の部―

地協名	氏名	所属クラブ名
青森県	小笠原 牧子	おいらせ町立南部児童センターひまわりクラブ
宮城県	下村 栄子	涌谷町八雲児童館地域活動母親クラブ『童里夢』
	石井 洋子	大崎市鹿島台母親クラブ
	平間 薫	蔵王町ひまわり母親クラブ
	菊池 克子	ままらんぼ母親クラブ
	石山 真奈美	ままらんぼ母親クラブ
山形県	高野 由美	山形市西部母親クラブ
	神保 徳子	山形市西部母親クラブ
	田邉 りか	泉第一母親クラブ
福島県	百瀬 八千代	泉第一母親クラブ
群馬県	斉藤 寿美子	太田市宝泉児童館母親クラブ
東京都	岩田 悦子	母親クラブこばと
	瀬端 早苗	母親クラブこばと
	田中 操代	母親クラブこばと
	横山 洋子	母親クラブこばと
	根岸 三枝子	母親クラブぶどうの会
	大島 和美	母親クラブぶどうの会
	掛川 菊代	グループたけのこ
相模原市	高柳 眞木子	南ブロック　ロバロバ母親クラブ
新潟県	寺尾 啓子	住吉小学校区母親クラブ
石川県	清造 悦子	金沢市米丸母親クラブ
静岡県	塩川 千津子	富士宮市宮っ子21母親クラブ
	望月 笑	富士宮市宮っ子21母親クラブ
兵庫県	中川 智子	姫路市宿泊型児童館地域組織活動クラブ
	原 睦美	姫路市東児童センター母親クラブ
和歌山県	吉川 かよ子	中央母親クラブ子供クラブ
	川端 弘子	岩出市地域活動連絡協議会
岡山県	西中 恵己	児島母親クラブ
広島県	岡田 雅代	呉市阿賀地域活動連絡協議会

―団体の部―

地協名	団体名
広島県	大和 博美	呉市阿賀地域活動連絡協議会
広島市	森脇 芳江	中筋母親クラブ
	児玉 玲子	中筋母親クラブ
	井道 恵子	中筋母親クラブ
	堀 弘子	吉島東母親クラブ
山口県	中西 芳美	なのはな母親クラブ
鹿児島県	寺園 タミ子	シルバーおしゃべり会
	尾辻 エミ子	シルバーおしゃべり会
	尾辻 洋子	シルバーおしゃべり会
	二宮 ノリ子	シルバーおしゃべり会
	窪 豊子	シルバーおしゃべり会
	春山 トシ子	シルバーおしゃべり会
	瀬戸口 アツ子	シルバーおしゃべり会
	東 道子	シルバーおしゃべり会
	窪 入子	シルバーおしゃべり会
	恒吉 明子	シルバーおしゃべり会
	志風 絹子	シルバーおしゃべり会
	桑畑 千代子	シルバーおしゃべり会
	九田 タエ子	シルバーおしゃべり会
	諏訪 節子	シルバーおしゃべり会
	下園 光子	シルバーおしゃべり会
	泊 リヨ	シルバーおしゃべり会
	黒川 洋子	シルバーおしゃべり会
	片野坂 ヤス子	シルバーおしゃべり会
	田代 イツ子	紙ふうせん
	坂元 喜美江	紙ふうせん
東京都		母親クラブぶどうの会
		母親クラブつくし
		桃井母親クラブピーチパイ
		母親クラブけやき会
		今川母親クラブ
		ふたば会
石川県		美川児童館カンガルークラブ
兵庫県		塩屋地区母親クラブ
山口県		華浦母親クラブ

平成29年度 全国地域活動連絡協議会 役員・委員名簿

◆役員

会長	小野 マリ子	九州ブロック	北九州市地域活動連絡協議会
副会長	佐々木 とし子	北海道・東北ブロック	宮城県地域活動（母親クラブ）連絡協議会
副会長	小林 睦子	関東・甲信越ブロック	みらい子育てネット東京
副会長	加納 永子	東海・近畿・北陸ブロック	静岡県地域活動連絡協議会
副会長	伊賀上 恵子	中国・四国ブロック	松山みらいクラブ連絡協議会
理事	捧 梅子	北海道・東北ブロック	福島県地域活動連絡協議会
理事	上岡 恵子	関東・甲信越ブロック	栃木県地域活動連絡協議会
理事	加藤 愛子	東海・近畿・北陸ブロック	愛知県地域活動連絡協議会
理事	松橋 美恵子	中国・四国ブロック	山口県地域活動連絡協議会
理事	髙山 文子	九州ブロック	宮崎県地域活動連絡協議会
常勤理事	渡部 博昭	全国地域活動連絡協議会	事務局長
監事	太刀川 悦子	北海道・東北ブロック	特定非営利活動法人みらい子育てネット山形
監事	大川原 さとみ	関東・甲信越ブロック	みらい子育てネット・新潟

◆通信委員

山口 なつえ	北海道・東北ブロック	青森県地域活動連絡協議会
仲野 尚美	関東・甲信越ブロック	ぐんま地域活動連絡協議会
森下 裕子	東海・近畿・北陸ブロック	兵庫県地域活動連絡協議会
澤田 直美	中国・四国ブロック	鳥取県地域活動連絡協議会
下園 眞理子	九州ブロック	鹿児島県地域活動連絡協議会

●主な役割…・全地協と母親クラブの有効なPR方法を探る
・全地協機関誌の充実を図る
・ホームページやブログの積極的な活用を進める

新任事務局長のあいさつ

一般財団法人 児童健全育成推進財団
渡部 博昭

このたび、松本前事務局長の後任として小野会長から任命を受けました。長い歴史と、数多の輝かしい実績がある母親クラブの全国団体の事務局長という大役を仰せつかったことに身の引き締まる思いをしております。右も左もわからない状態ですが、役員各位、会員各位のご協力、ご指導をいただきながら役目を務めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

子どもを取り巻く様々な問題が毎日のように報じられています。虐待、貧困、不審者情報や誘拐、いじめ、不登校等々、報道に触れるたびに身につまされる気がいたします。「私たち健全育成関係者はいったい何ができているのだろう?これから何をすべきなのだろう?」といつも考えてしまいます。

母親クラブ活動が提唱された当時と現在とでは、子どもたちや私たちが日々生活している社会環境がずいぶんと様変わりをしていますが、母親クラブがスローガンとしている「まちの子はみんなわが子」の精神は、ますます重要な時代になっていると思います。

子どもたちが安心して町の中を闊歩でき、遊び、良いことも悪いことも含めて地域の人たちの目がある中で毎日が営まれる。そんな地域を目指して、母親クラブは愚直にスローガンを発信し、地道に活動することが大事なんだろうと思っています。

ボランティアである私たちにできることは、限られているかも知れませんが、長年の活動で培ってきた経験や知恵があります。各地域の子どもたちや子育て中の親に何が必要かを考えながら、一歩一歩前に向かって活動する、そんな母親クラブを一生懸命支援する事務局でありたいと考えています。

母親クラブ みらい子育てネットだより
発行／全国地域活動連絡協議会
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会ビル7F
TEL 03-3797-8183 FAX 03-3486-5142
www.hahaoya-club.ne.jp